

## 瀬戸焼振興ビジョン改定委員会（第3回目）

日 時：令和4年8月19日（金）  
13時55分から15時30分  
場 所：パルティセと4階 大会議室  
出席者：改定委員 7名  
事務局：5名

### 【内容】

- 1 挨拶
- 2 パブリックコメントの結果について
- 3 瀬戸焼振興ビジョンの改定について

### 【内容】

#### 1 挨拶

- ・地域振興部長よりあいさつ

#### 2 パブリックコメントの結果について

パブリックコメントの内容及び市の考え方について、公表資料案を配布し、事務局から概要を説明してご意見をいただいた。

##### ● 委員長

- ・ 概ね賛同していただいている意見が多いですが、参考にさせていただく必要があるものもありました。
- ・ 瀬戸焼振興ビジョンの改定案の修正を要する意見はなかったと思っておりますが、熱心にご意見をいただき、興味深く思っています。
- ・ 委員の皆様のご意見をいただきたいと思います。

##### ● 委員全員

- ・ 意見なし

##### ● 委員長

- ・ 次の議題の内容によっては、市の考え方の部分に修正が加わる可能性はあるが、基本的には原案のとおり対応させていただきますので、よろしくをお願いします。

#### 3 瀬戸焼振興ビジョンの改定について

事前に送付した瀬戸焼ビジョン改定案及び配布した同概要版について、事務局より前回からの変更点と改定のポイントをお伝えし、委員からご意見をいただいた。

● 委員長

- ・ 前回有意義なご意見をいただき、その意見を基に事務局と話し合いを重ねて、今回の改定案のとおり作り直しを行っております。
- ・ 地名が付いた、いわば典型的な地場産業の例として〇〇焼といったものがありますが、中には、今後10、20年後にも存在できているのか疑問の産地もある。  
一方で、地域ブランドとして確立している産地もあることから、今後この瀬戸という産地が、21世紀の半ばにどういった産地でありたいのか、といった視点が重要と考えています。
- ・ 今後、「日本を代表するやきもの産地であり続けるために」、消費者の目線や、ヒトやモノに焦点を当てた取り組みを進めていく方向性で修正しています。
- ・ 委員の皆様のご感想なども含めて、ご意見をいただきたいと思います。

● 委員

- ・ 以前に実施した首都圏への出展事業の成果が出ていると聞いているが、今後の展開はどう考えていますか。

● 事務局

- ・ 新型コロナウイルス感染症により2年間中止をしていましたが、今年度は実施する予定で準備を進めています。

● 委員

- ・ 首都圏で展示会をするなどの外向きのものだけでなく、瀬戸に呼び込むといった、観光などと結び付けた取り組みが必要だと思う。

● 委員長

- ・ 新しく出てきた作家などと地域のヒトや取り組みと結び付けて、やる気のある作家やツクリテを盛り上げていくことはとても重要だと思います。
- ・ そういった取り組みを通して、ヒトがヒトをつなげていき、そういったヒトが集まることで、産地としての魅力が高まっていくと思います。

● 委員

- ・ 首都圏などで認知度を高めることは、販路開拓として重要なことだと思います。

● 委員

- ・ 昔と比べると市場の目はかなり厳しくなっており、首都圏の厳しい目を経験することは重要だと思います。
- ・ 若手作家やツクリテの支援も大切ですが、職人になりたい人はあまりいないのでは

ないかと思います。

● 委員長

- ・ 作家か職人かのいずれかという考え方でなく、両方を併せ持ったような人が新たな職人像として育っていく環境があるとよいと思いますが、いかがでしょうか。

● 委員

- ・ 昔と違って今は職人の収入は多くはないため、地場産業全体を底上げして稼げるようにならないと育たないと思います。
- ・ 作家にとって自身でイベント等を開催するのは困難なため、業界や市役所などのリーダーシップで様々なイベントの機会があってありがたいと思っています。

● 委員

- ・ 瀬戸は、質の高い原料で生産性が高く、流通も整っていたことから、産業の近代化とともに豊かになってきたが、近年ではこのやり方が通用しなくなっている。
- ・ 大量生産に合わせた低価格品のものづくりでは、人件費などの面からも海外に対して太刀打ちができない。
- ・ 今のものづくりでは、市場に対してオーナーのアイデアだけで商品開発することが難しくなっている。自社だけでなくプロのデザイナーの力が必要で、そういった交流が必要だと思います。

● 委員

- ・ こういった視点が事業をすすめていくうえで長らく欠けており、事業者の稼ぐ力が不足している。どこに投資をしていくかがポイントだと思います。

● 委員長

- ・ 産地外から連れてくるのもよいが、デザインなど何か新しいモノを創出するヒトの集団が瀬戸から出てきて、それらと製造や流通とマッチングをしていくような動きが出てくる産地であって欲しいと思いますし、それだけのポテンシャルを持った地域だと思っています。きっと、こういったことが昔はできていたのだと思います。

● 委員

- ・ 昔は作れば売れた。現代においては売れるものを作るために、デザインから製造、販売までのすべてをこなさなければならない。
- ・ 瀬戸が一流の産地となって、一流のデザイナーが瀬戸焼と組みたいと思わせるようなプレゼンをしていく必要があると思います。

● 委員

- ・ 昔は、メーカーと問屋でお互いにニーズを把握して、それに応えられる商品を作っていたが、今はないです。

● 委員

- ・ やきもの業界では、市場で流行が来そうなものがあると、すぐに美濃や波佐見などの産地のものが市場を席卷するが、瀬戸は出てこない。
- ・ 瀬戸でできることは何があって、そのできることに対するニーズとマッチングできる仕組みがあるといいと思います。

● 委員

- ・ 今後、ノベルティなどの技術のあるヒトが減って、今のように作りたいモノが作れなくなってしまうかもしれない。

● 委員長

- ・ デザイナーなど外の人と組むことも必要だと思いますが、できれば瀬戸の中で小さくてもよいので、成功事例を1つ2つと積み重ねていけるとよいと思います。

● 委員

- ・ 一部のヒトでもいいので、しっかりとしたビジネスモデルで成功体験をしてもらい、それが広がっていくとよいと思います。

● 委員

- ・ デザインについて、やきものだけで考えるのではなく、絵画や工業デザインなどを取り入れるなど、もともと原点である自由な発想に立ち返ってみるのもいいと思います。

● 委員

- ・ 瀬戸を代表するツクリテについても、人気が上がっているツクリテが少しずつ出てきてはいるが、まだまだ突出したとまではいえない。人数ももっと増えてくるとよいと思います。

● 委員

- ・ そういったヒト達を集めて、広げていくとよいと思います。

● 委員

- ・ 作家の中には、作ることに専念したいため、自分の名前や連絡先を明かさないヒトもいるので、名前を出してもらえるとうれしいですね。

- 委員長
  - ・ ご意見ありがとうございました。こういった話を語り合えるのが瀬戸のいいところですね。
  - ・ それでは確認になりますが、今回のビジョン改定案について、修正を要するといったご指摘はなかったと思いますが、委員のみなさまいかがでしょうか。
  
- 委員全員
  - ・ 意見なし
  
- 委員長
  - ・ 今回のビジョン改定案につきましては、パブコメを含めて修正しないことを基本として、今回のご意見を参考に事務局の方で進めさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

以上。